

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 でいじいおれんじ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6	5		身体も大きくなり10人 来ると手狭に感じる。 不穩になった時の クールダウンスペース がほしい。	出来る限り環境を整え対応して います
	②	職員の配置数は適切である	10			その時々で活動・時間 を工夫している	利用人数に応じた職員の配置 を行っています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	3	6	1	建物の構造上、階段 や段差があるが出来る 限りの配慮をして いる。	階段や段差などは職員が適宜 見守り及び介助をしています
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	6	4		業務日誌などで伝え たり、ミーティングをし ているが温度差があ ると感じる。	より具体的に各自に伝える努力 をしていきます 繰り返し伝えていきます
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	9	1	1		集計データの周知・ミーティング をし、職員全員で保護者の意向 を把握しています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8	1			引き続き公開していきます
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	4	1		導入を検討していきます
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	7	2			引き続き研修の案内、開催を 行っていきます
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	9				児童発達支援管理責任者が責 任を持って作成しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	8	1			児童の成長に合わせ適宜見直 し使用していきます
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1			ミーティング時に行っています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	10				昔の遊び、手作りおもちゃなど を活用したり季節のイベントに 合わせ活動しています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	9				家庭からの希望に応じ都度課 題内容を見直し対応しています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	10				児童の状況に配慮し活動内容 を決めています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	11				開始前ミーティング時に大まか ながら当日の活動内容等決め ています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	5	1	業務日誌などで前日 の反省点などは伝えて いるが、業務終了 後の振り返りが行え ていない。	当日の振り返りは難しいが、業 務日誌に書き残したり翌日の ミーティングで共有しています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1			経過表は職員全員が偏ることな く書くよう意識しています
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	10				引き続き半年に一度モニタリン グを行い見直しをしていきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	1			定期的にガイドラインを確認し支援に取り入れています
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	3			相談支援員とのモニタリングに備えて支援手順書を作成し児童発達支援管理責任者が対応しています
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	1			普段の送迎時より学校側とコミュニケーションを取る事を心掛け、適宜連絡ができるように努めている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	6	1	今のところ医療的ケアが必要な子はいない	現状該当児はいませんが、今後受入れが発生した場合関係機関と密に連携していきます
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4		保護者に提出をお願いしているが、全て提出されていない。	必要な時はこちらから連絡、説明し口頭でもよいので情報提供してもらうようにしている 関連事業所には支援手順書を渡している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	1		当事業所は概ね小学生を中心に受け入れており該当しないが、他事業所への移動時等要望があれば提供しています
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1			外部研修に参加し、スキルの向上及び専門機関職員の方とコミュニケーションをとっています
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	1	公園散歩などで健常の子と一緒にすることはある	地域のイベント等に積極的に参加している
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	5			今後参加を検討していきます
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10				送迎時や連絡帳、必要時には電話で伝え共通の理解及び認識で支援にあたっている
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5		ニーズに応じた支援を行っている。	今後ペアレントトレーニング支援ができるよう研修に参加しスキル向上に向け努力しています
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10				契約時及び適宜説明しています
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9				保護者からアラートが出た場合、速やかに対応するよう心掛けています
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	2		感染状況を見極め、今後再開できるように検討していきます
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10				すぐに職員に周知し、改善策を取り続け管理者より保護者へ速やかに対応しています
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9				毎月月初に発行しています	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	個人情報に十分注意している	10				個人情報保護法等に則り適切に対応しています
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				写真カードや絵カードの使用、ゆっくり話すなど適宜対応しています
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	2		感染状況を見極め今後検討していきます
非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	2			ミーティングで職員への周知は行っています 保護者に向けて今後どのように発信するか検討します
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11				毎月1回様々な災害を想定した訓練を行っています
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10				毎年全職員が虐待防止研修を行っています
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	2			引き続き事前に十分な説明をし、計画書に記載していきます
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3			保護者からの情報提供をもとに対応しています
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11				記載があった場合速やかに職員全員に周知しています

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。